

令和6年第15回（定例）高砂市教育委員会 会議録

令和6年10月17日午後3時高砂市教育委員会を高砂市役所南庁舎2階会議室2において開会

出席者

教育長	玉野 有彦
委員	吉田 美香
委員	山名 克典
委員	神尾 信作
委員	吉屋 章

出席事務局職員

教育部長	木田 匠	教育推進室長	福本 典子
学校教育室長	平山 健二	学校教育室参事	矢野 仁之
教育総務課長	石原 里美	生涯学習課長	四方 亮輔
学校教育課長	福永 慎也	青少年センター所長	長谷川 竜平

本日の会議に付した事件

議案

- 1 高砂市教育委員会事業後援について
 - (1) 子どもをのばす親になれる講座
 - (2) くるみダンスファクトリー神戸・加古川合同公演

協議事項

- 1 高砂市立荒井幼稚園と高砂市立荒井こども園との統合に伴う規則等の改正について
- 2 令和7年度教育委員会予算要望について
- 3 新たな学校づくりアンケート調査内容について

報告事項

- 1 職員人事について
- 2 高砂市議会令和6年9月定例会の報告について
- 3 令和6年度トライやる・ウィーク視察計画について
- 4 高砂市新たな学校づくり推進計画策定等業務委託の受託者の決定について
- 5 高砂市教育委員会事業後援について

その他

- 1 11月行事予定について

議 事 議案 1 高砂市教育委員会事業後援について

○教育長 議案 1 高砂市教育委員会事業後援 (1) 子どもをのばす親になれる講座、
(2) くるみダンスファクトリー神戸・加古川合同公演について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 事業の名称は子どもをのばす親になれる講座、目的は自我の目覚めた小学生の親のための相談・サポート、事業内容は子育て支援講座の開催及び家族相談サポートを社会貢献活動として行うこと、団体の名称は一般社団法人日本パーソナルコミュニケーション協会で所在地は埼玉県です。

実施場所は高砂地域交流センター、参加対象は市内小学校 1 年生から 4 年生の保護者、参加費の徴収はなし、ほかの後援団体もなしという申請がありました。

事業等計画書では、定員は各回10組、事業の目的は母親を軸とした親同士の交流の場とか学びの場を無償で提供し、地域振興や親同士のコミュニティに繋げることで社会に貢献することと記載されています。ホームページでは、最新の脳科学や心理学で分かった子育て方法、サイグラムという名前の行動パターン分析ツールを使って、子どもの才能発見講座とかをやっていますと描かれています。

開催実績は、兵庫県内は三田市、加古川市、加東市、西脇市、尼崎市、丹波市です。7 ページに野々市市で行われたときのチラシを添付しておりますが、右上の方に「最新の脳科学に基づいた子どもの隠れた才能の見つけ方講座&家計の作り方」とありその下に、野々市市教育委員会後援、参加無料と記載されております。

お手元の方に「高砂市教育委員会後援名義の使用承認に関する要綱」をお渡ししていますが、「第 2 条 (2) 市民の幅広い参加又は教育行政向上への寄与が期待できるもの」なのかというところと、特定の団体・個人の宣伝又は売名目的とするものではないかというように考えています。

○教育長 1 つ目の後援申請につきまして、事務局からの説明は終わりました。
御意見いただきたいと思います。

○委員 一般社団法人のパーソナルコミュニケーション協会子育て診断士会というのはどういう資格で何を診断するのでしょうか。

○事務局 協会のホームページには、「コミュニケーション学や心理学、脳科学に基づいた子育ての方法について定期的に学んでいる、認定資格を取得した子育てアドバイス・家族分析のプロフェッショナルです。夫婦関係・親子関係が幸せな人生の基盤になるという理念のもと、社会貢献活動として全国で個別相談や講演活動を行っています」とは書いてあり、もう 1 ページ子育て診断士とはということたくさん書いているところもあるんですけど、特に資格自体の細かいことは書いておられません。

○委員 お聞きしたのはチラシの中でこんなことがわかりますということで個性に合った接し方というのが一番に載っているんですね。診断士というのが何をされるのかよく分からないのですけれども、個性のある子どもさんと保育・教育の仕方をマッチングしていくということで診断しているのであれば、診断士さんが方針を示したみたいにレッテルを貼るのは子どもにはちょっと怖いなと感じてしまったので。

きちんとした基準がある資格ならいいんですけれども、何となくいろんなデータを寄せ集めてきたもので自分たちなりに何か診断士ですといって子どもに診断をつけてしまうのであれば、ちょっと不安は感じました。診断士って何を基準にどんな資格で誰を診断されるんですかということを知りたかったんですけれども。

○事務局 この日本パーソナルコミュニケーション協会自体がつくった資格ではあるみたいなんですけど、ホームページの方には細かな内容まで書かれてないです。先ほど最初の方にお伝えした家族間のコミュニケーションの問題とか家族それぞれの人間関係について、「行動パターン心理学（分析学）の観点から分析・検証・診断し、問題解決に向けた適切なアドバイスやサポートができる資格者のことで、具体的に個別相談とかも受けます」とは書かれています。10組と限定的に書かれているので、そういうイベントの際には個別の相談も受け付けるということかと思います。

○委員 結局、10組の人たちにその話をして、隠れた才能とか見つけて、その後、何をしようとしているのか、その意図が分からないですね。

○委員 こういう講座でポイントになるのは参加費があるかないかで、その次、集会が終わった後、個人データを集めてそれを何かに利用するのではないかということで、今まで後援しなかったと思うんですが、ここは10組なので、逆にちょっと安心感があると思いました。3ページの目的には、あくまでも非営利で会員の社会貢献活動とあり、2ページの事業目的の親同士の交流の場でそのコミュニティに繋げることを本当に目的としているのであればよいのかと思います。いろんな悩みを持っておられる保護者の交流の場の1つになるのであればよいのかなと思いました。

○委員 今、先生が言われたように、これを信じるならばということなんですけど、この手の目的がはっきりと分からないセミナーとか講演会というのが非常に増えてきています。前回から出ているお金に関するセミナーとかとは、表には出ていませんが、何かにつなげようとしていると思います。今、委員は10名ということで信頼感があるのと違うかとおっしゃいましたが、僕は逆に10名だと何かに誘導しようとしたときに、既にもう断りにくいと思います。

要綱の第2条の(3)では「広く市民を対象としているもの」とあるんですが、これは、広く対象とせず、非常に限られた限定10名ですし、前回までのこうい

うお金に関するセミナーのときも、高砂市としては、不明瞭なところはもう全部後援しないという流れになっていたので、後援する必要はないと思います。

○教育長 子育て診断士というのはこの協会が認定して、国家資格でも何でもないみたいです。要綱を見たときに、市民の幅広い参加ということや主催者の住所ということもあり承認は難しいと思います。皆さんの意見も、承認は難しいとされていると感じました。

○委員 委員が言ったように、最近、いろんな講演会の申請があったときに、非常に曖昧な状態で、目的も明確にされていないし、何のためにしているのかよく分からないようなものはやめようという流れができてきているので、それを今後、基本方針とすることとし、今回に関しても、やはり釈然としないのは後援しないでいいと思います。

○委員 チラシの下の方の講師陣の子育て診断士支援インストラクターという肩書ですけど、これは会がつくったもので、明らかにお金にちなんだ経済的なプランに持っていくと、はっきり肩書きで分かってしまっているということと、「お子さんの未来が明るくなるライフプランを考えるために役立ちます」とははっきり書いていらっしゃるのでは、お金絡みだろうと思います。

あともう1つは、一番上のところに「0歳～6歳・小学生」、0歳の子どもに国家資格でもない診断士が、「あなた、こういうタイプの子どもですよ」「こういうふうに育てた方がいいですよ」なんていう言葉、私は分かるはずがないと思うんですよ。それでも1歳でそんな診断を言われると、信じたくなくても、母親って脳裏に残ってしまってすごい影響を受けるんですよ。私の個人的な経験ですけど、うちの子どもも1歳にならないときに、保健婦さんが何げなくおっしゃったと思うんですけど、「こういう目つきの子って難しいよ、育て方」と言われた途端にすごいそのことが気になって、思春期までそれが消えなかった記憶があります。だから、あまりそういう影響、いい影響ならいいですけど、診断士とかいう肩書きで何か決めつけるようなことだけはしてほしくないと思いますので、できればこれは許可しない方がいいと思います。

○教育長 皆さん、いかがでしょうか。この申請は承認しないでよろしいですか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

○教育長 議案1（1）の事業後援については、申請を承認しないで可決させていただきます。

○事務局 前は第2条の「市民の幅広い参加又は教育行政向上への寄与が期待できるもの」ではないということと、その2項の「特定の団体・個人の宣伝又は売名を目的とするもの」ということで後援しないと回答していますので、今回もそういう内容で不承認と通知したいと思います。

それと併せて、来年度に「高砂市教育委員会後援名義の使用承認に関する要綱」の改正を考えており、また議案等で上げさせていただくと思いますので、その際はよろしくをお願いします。

○教育長 続いて、(2) くるみダンスファクトリー神戸・加古川合同公演をお願いします。

○事務局 これは昨年度も後援申請があり承認しており、前回は高砂市文化会館で開催されましたが、今回は、2025年2月2日に明石市立西部市民会館で、参加対象は一般、参加費の徴収はあり、ほかの後援団体は兵庫県、加古川市、明石市、神戸市などの市や教育委員会で代表の方は加古川の方になります。

観客予定人数は444人、内容はダンスショーとオリジナルミュージカル、参加費を取るということで予算書と会則を添付しております。

後援要綱の第2条の(3)の「事業の開催地及び主催者の住所又は所在地がともに高砂市外であるときは、高砂市全域を対象として行われる事業で、かつ、広く市民を対象としているもの」に該当するか、2項(6)の「特定の団体・個人の宣伝又は営利目的とするもの」にあたるかということで議案としております。

○委員 これはくるみダンスファクトリーというダンスやミュージカルを教える教室の発表会で、今までは、生徒さんにそれぞれ出場する量によってチケットノルマが定められていて、チケットを生徒さんが買って客席を埋めていくやり方で、割としっかりしたプログラムを毎年作って、そこに高砂市教育委員会後援と載り、生徒募集とかも載っているのがどうなのかと思いました。また、1つの教室に対して市が後援するということも結構引っかかってくると思います。

○委員 個人経営している教室などに後援していいのかとずっと思っていました。

また、明石市で実施する事業なので、高砂市教育委員会はあえて後援する必要はないかとも思います。

○委員 先ほど言われたように、高砂市以外ということと、特定の団体・個人の宣伝に該当すると思いますので、承認はやめていいと思います。

○委員 私も同じです。

○教育長 分かりました。

私も同様のことを思っております。市はどうになりましたか。

○事務局 市は承認するということになりました。

○教育長 高砂市教育委員会としては承認しないよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 議案1(2)の事業後援につきましても、申請を許可しないということで可決させていただきます。

議 事 協議事項1 高砂市立荒井幼稚園と高砂市立荒井こども園との統合に伴う規則等の改正について

○教育長 協議事項 1 高砂市立荒井幼稚園と高砂市立荒井こども園との統合に伴う規則等の改正について事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 高砂市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部改正は、第 2 条で「幼稚園」と「園長」という文言を削除し、第 4 条及び第 14 条では「校長等」を「校長」に改めます。

高砂市立学校施設使用条例施行規則の一部改正は、市立学校施設使用許可申請書の様式の「園長又は」という文言を削除いたします。

どちらも、施行日は令和 7 年 4 月 1 日です。

この後は、例規審議会を経て、ほかの今まで御協議いただきました規則案と併せまして、教育委員会にお諮りする予定です。

○教育長 これについて、御意見、御質問ございますか。よろしいですか。
(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 協議事項 1 高砂市立荒井幼稚園と高砂市立荒井こども園との統合に伴う規則等の改正については承認いたします。

議 事 協議事項 2 令和 7 年度教育委員会予算要望について

○教育長 協議事項 2 令和 7 年度教育委員会予算要望について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 1 令和 7 年度予算重点要望事項の緊急事業予算要望(おおむね 1、2 年)は、
(1) 情報教育の推進では、児童生徒の ICT を活用した学びを推進していくために、学習用タブレットの更新や修繕などに要する経費を、(2) の部活動地域移行推進事業の推進では、地域移行に向けた取組を推進するために、活動のコーディネート者の配置や実証研究などに係る予算措置を、(3) 学校給食費の食材高騰分の負担軽減では、給食費の保護者への負担を軽減するために、市から物価高騰分に対する補助を引き続き、(4) 特別支援教育に係る支援員の充実では、要支援対象者数が年々増えてきているため、スクールアシスタントの増員を、(5) 外国人児童生徒等サポート員の配置では、適切な予算措置をお願いするものでございます。

(6) 医療的ケアが必要な児童生徒に係る看護師の配置、(7) 不登校問題対策の推進では、不登校支援員の配置、(8) スクールサポートスタッフの配置では継続的に予算措置をお願いするものでございます。

(9) 学校施設の補修工事は、緊急を要する外壁改修や安全対策、雨漏りの補修やフェンスの補修工事、古い設備機器の更新に伴う経費、給食室の環境改善に要する経費について、迅速な予算措置を、(10) 旧入江家住宅保存整備事業の推進は、文化財として保存するとともに、積極的な活用を図るための経費を(11) プ

ール清掃の委託化は、専門業者による丁寧な清掃を行うことで、子どもが安心してプールの使用ができるように予算措置をお願いするものでございます。

2 重点事業（おおむね3年から5年）は、（1）小・中学校空調設備の整備では、特別教室や体育館、武道場にも空調設備の整備を、（2）安全・安心な給食の提供では、厨房備品の買い替え費用や修繕費用、小学校の給食室にある大型厨房備品の計画的購入などの予算措置を、（3）の学校施設の計画的整備では、児童生徒の安全・安心な学習環境を確保するために、計画のロードマップに沿った大規模改修や建て替えに要する予算確保をお願いするものでございます。

○教育長 事務局より説明が終わりました。
御意見、御質問はございますか。

○委員 （1）情報教育の推進ですけど、修理、修繕はランニングコストとして当然に計上されるものだと思うのですが、どうしてこれが一番になるのですか。

○教育長 必要と考え要望していきたいと考えています。

○委員 要望しないと高砂はGIGAスクール構想から外れるということですか。

（休憩 午後3時37分）

（再開 午後3時50分）

○委員 予算要望の項目に対しての中身というか、ビジョンというか、その辺を教えてください。いただいた上で市長に要望したいと思います。例えば、（2）部活動地域移行推進事業ですが、地域移行する各団体とか部活を幾つ想定して、幾らぐらい支払うのかといった中身も教えてください。

○委員 この（2）に関しての予算要求は数百万円でしょう、緊急性が非常に高いのに、教育委員会が市長に要求する金額として、数百万円の要求では物足りないですね。本気で地域移行に関しての実現をどれだけ図っているのか、積極的に受皿を養成、育成、整備していく意図が伝わってこないです。

（休憩 午後3時53分）

（再開 午後4時17分）

○教育長 委員の質問の予算額は300万円ですが、市長に要望する際には、運営方法、その仕組みや予算についてお願いしたいと思います

○委員 （3）学校給食費の食材高騰分の負担軽減ですが、市からの物価高騰分に対する食材購入費の補助を引き続きお願いします、というような小さいことじゃなくて、地産地消をするとかいろんなことに対して食育のことを考えた形でもう一歩前へ出た予算要望をしないといけないと思います。

（休憩 午後4時19分）

（再開 午後4時42分）

○教育長 休憩中に話が出ました。給食食材の高騰分への負担軽減について予算要望を行いますが、今後、新たな給食の形を模索するような予算、企画を考えてほしいという要望を受けましたので、検討させていただきたいと思います。

○委員 私はお願いなんですけれども、個人的にはもうできるだけ早くしてもらえたらと思うことで、先生方の働き方改革のことにつながることでなんですけれども、先生方の保護者対応が本当に悲惨な状況で、保護者対応に追われている先生がたくさんいらっしゃるのが現状で、現場に行かないと分かりにくいかもしれませんが、暴言を吐かれたり、若い先生方がメンタルをやられるようなことがあります。そういうことにスクールロイヤーを置いて対応できないのかなと思います。もちろん商品の苦情を聞くというような形ではないので、先生自身も、自分の言い方、態度がこう相手に伝わるんだなということも知っていただいた方がいいので、苦情は全部ここに一括にという形ではないですけれども、本当に対応できないような話がいっぱいありますので、マニュアルやノウハウを持っているプロの方に対応していただけるような方法を考えて何かの形で予算要望を上げていっていただけたら、こういう状況なんだということだけでも知っていただければありがたいと思います。

○事務局 スクールロイヤーについては、我々も思うところがありまして、他市の状況とか調査しながら研究をしているところです。もうしばらくお待ちいただき、しかるべきときに予算要求できればと思っています。

○委員 もう1つ、先生方のことなんですけれども、高砂市には先生たちが集まってサークル的に研究会をやるような場所がありません。新しく作るとなると大変だと思うので、荒井幼稚園の跡でもいいですけれども、どこか適切な場所で、若い先生方が研究をするために集まれるような場所をつくるようなことへの予算要望をしていけたらと思います。

(休憩 午後4時27分)

(再開 午後4時28分)

○教育長 委員から教職員の研修について場所の確保も要るのではないかという御意見も伺いました。現在やっている活動にプラスアルファできればと思っています。

○委員 その特別支援の通級の方々は県になるんですか。

○教育長 はい。

○委員 県が認めないとどうしてもやっぱり増えない。

○教育長 そうです。

○委員 通級の先生方が少なくて、通級の回数があまりにも少な過ぎて、結局効果を発しない状態が出てきているので、ここではないだろうと思いながら質問したのですが、やっぱり要望してもらわないといけないと思います。

○事務局 そうですね。県の方にはまた要望します。

○委員 お願いします。

○教育長 9月議会においても、通級指導教員はもっと増やしてほしいと県の方に要望していると答弁させてもらっています。これからも要望してまいりたいと思います。その他御意見、御質問ございますか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 協議事項 2 令和 7 年度教育委員会予算要望については承認いたします。

議 事 協議事項 3 新たな学校づくりアンケート調査内容について

○教育長 協議事項 3 新たな学校づくりアンケート調査内容について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 前回 9 月 26 日の教育委員会でいただいた御意見や庁内委員会や庁内委員会の幹事会、新たな学校づくり推進審議会からの御意見も頂戴し、それらを踏まえて修正いたしました。

また、阿弥陀小学校 1 年生の 1 クラスを対象に、このアンケート調査を事前に試験的に実施し、その様子を実際に拝見して、そこで感じたことや直さないといけないといったところも反映しております。

今回は、小学校 1 年生から 3 年生の低学年の児童を対象としたアンケート調査を用いまして、今までの主な修正内容を御説明します。

1 ページ本文の 5 行目に「特に低学年の実施にはご負担をおかけしてしまいますが、ICT 支援員の指導できる時間帯での実施などご配慮をお願いいたします」の文言を追加しました。事前の試験的実施の結果、1 年生、2 年生は補助が必要で、支援員さんがいらっしゃると非常に助かるなと感じましたので、その内容を入れております。

下の方の注意事項の 2 つ目の黒丸の下線部分の選択肢について、「選択肢は、文字ではなくチェックボックスを」云々の文章ですが、これは前回、1 画面に質問が収まった方がいい、スクロールは難しいという御指摘がございましたので選択肢をできるだけ絞り 1 画面に収め、1 問ごとに答えないと次に進めないという形を取りました。

2 ページから実際に児童が回答するアンケートになりますが、質問数は前回 19 問を 12 問に減らしました。

14 ページ質問 12 は「学校にあったらいいなと思う『もの』や『ばしょ』をおしえてください」という問いです。前は 1 番目、2 番目、3 番目と順々にお気に入りの場所を尋ねていましたが、1 つの質問にして 3 つまで答えてくださいねというふうに修正いたしました。

その他では調査対象を低学年なら低学年、中学校なら中学校、保護者なら保護者というふうに表現の修正を重ねています。

アンケートは 10 月 25 日から実施できるように準備を進めており、回答期間は 10 月 25 日から 11 月 30 日まで、結果は来年 1 月の教育委員会で報告したいと考えております。

○教育長 事務局の説明が終わりました。

アンケート調査内容について、御質問、御意見ございますか。

○委員 質問項目が一番多いのはどのカテゴリーで何問ですか。

○事務局 児童生徒の保護者で32問です。

○委員 随分減りましたか。

○事務局 はい、減らしました。

○委員 お疲れさまでした。最初の説明文に質問数が書いてありますね。

○委員 児童生徒の保護者は40問になっていますが、解答の目安の10分から15分で本当にできますか。

○事務局 実際にやってできました。

○委員 最後の113ページ問23「その他、学校施設面についてご意見やご提案がありましたら」という、記述内容は集計が大変だと思うんですけども、集計の仕方、回答の仕方とかはどのようにされますか。

○事務局 自由記述については、全て見て残します。いただいた全ての項目を返すという形はしませんが、こういう記述がありましたとそのまま御報告するという形で、結果として受け止めていきたいと思っています。

○委員 またフィードバックというか、公開されますか

○事務局 報告書の中には全てこういう記述は載せますが、どこまで公開するかはこれから考えていきたいと思っています。ただ、こういう自由記述でいただく御意見は貴重なものも多いので、それはしっかり受け止めたいと考えています。

○委員 小学校はすごく分かりやすくなりましたね。市民用は文字が大きい方がありがたいと思いますのでよろしくお願いします。

○事務局 システム上ちょっと難しいところもございますが、可能な限りシステム担当者と調整させていただきます。

○委員 お願いします。

○委員 今さらなんですけど、アンケートの目的が何かしっくり伝わってこないのです。

○事務局 上の3行ですか。

○教育長 今の学校のことをどう思っているのか、将来どうなってほしいのかを調べる調査ですということが、2行の中に含まれているということだと思えます。ただ、その上に書いてあることとちょっと何か乖離しているのではないかということですね。

○委員 読解力の問題ですね。

○教育長 こういう状況があって、それを改善するためにこんな調査をするんだというのはつながっていますが、初めて読まれる方はどうなのかということなんですね。

○事務局 1ページは低学年に対しての説明になってきますので、目的を伝えるというのは正直難しいところがあり、このような表現になってしまっています。対象者ごとに目的というのは表現を変えていますので、周知目的ということと簡単にアンケートに進んでいただくというところで、簡単に表現しています。

○教育長 よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 協議事項 3 新たな学校づくりアンケート調査内容については、それでやっていただくという形で承認いたします。

議 事 報告事項 1 職員人事について【非公開】

○教育長 報告事項 1 職員人事につきましては、人事に関わることでございます。地教育法第14条の7項により、出席者の3分の2以上の多数決でしたときは公開しないことができるとなっておりますので、適正に審議を行うために、公開しないことについて、賛成の委員の挙手を求めます。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

○教育長 それでは、非公開とさせていただきます。

(非公開のため別途会議録作成)

議 事 報告事項 2 高砂市議会令和6年9月定例会の報告について

○教育長 報告事項 2 高砂市議会令和6年9月定例会の報告について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 23ページ第2回令和6年度一般会計補正予算では、児童・生徒のタブレットの修繕費用の補正について、近隣市町の故障率との比較、1台当たりの修繕費用、破損防止のための対応やタブレット導入に伴う学習効果等の質疑がございました。

25ページ一般質問では、坂本議員から、通級指導の現状と課題、特別支援を必要とする生徒や不登校生徒の進路指導について質問が、26ページ石崎議員から、医療的ケア児への災害対策について、入江議員から、小中学校におけるICT教育の推進、ICT活用支援及び現状把握やICTの活用状況や導入効果についてなど、28ページ松野議員から、熱中症から命を守る夏場の日傘の活用について、29ページ山田議員から、起立性調節障害、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどによる支援強化について、30ページ川端議員から、名所旧跡など案内表示の充実、様々な事業に関わるいわれや言い伝えの継承などの発信力の向上について、鈴木議員から、高砂市の学力向上の取組について、31ページ北野議員から、小中学校のかばんの重さや子どもたちへの発育への影響、デジタル教科書、特別教室や体育館へのエアコンの設置についてなどの御質問がございました。

32 ページ決算の質疑では、学校司書の配置や学校図書館の整備状況、図書の廃棄や更新状況、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの相談状況、認知症サポーターの小中学校での育成状況や部活動の地域移行、外国人児童生徒支援の状況についての御質問がございました。

34 ページ文教厚生常任委員会では、条例関係で、荒井幼稚園を荒井こども園に統合するに当たっての児童・保護者のフォローや就学前教育の充実について、補正関係で、タブレットの修繕費について故障の理由や故障の状況、正しい使い方、浸透についてなどの御質問がございました。

○教育長 報告について、質問、御意見ございますか。

○委員 鈴木議員が「教育委員会の中で教育委員の方々と教育研究所や学力向上についてどのような話合いがされているのか」と質問されていますが、どういう意図で聞いているのですか。

○事務局 鈴木議員は教育研究所をつくってはどうかという提案をされていまして、年に1 回ぐらいはこのように教育研究所の議論がどうなっていますかというようなことを継続的に聞かれています。趣旨は学力向上とかのために教育研究所などをつくってはどうかというようなことです。

○委員 以前からこの教育研究所に関しては高砂市内にも作ったらどうだという話は出ていて、学力向上につながるのであれば必要かと思います。

置き勉のことですが、本当にみんな重たいです。体重の10%を超えてはいけないとか、荷重をかけては将来変形を来して、発育にも影響が出ますよとか言われています。

○事務局 今年度、主事が学校に行って測ってきました。タブレットが1.3 kgありますので、小学校は前回平成30年度とそんなに変化していませんが、中学校は置き勉が4.5 kgから5.5 kgありますので、15 kgあったものが令和6年度は9.3 kg程度まで下がってきています。置き勉を推奨してきているので、5 kgぐらいは下がっていますが、10 kg前後の物は毎日持ち帰りしていることになります。小学校の方はタブレットが増えましたが、トータルが4.5 kgから6.5 kgだったのが4.7 kgから5.9 kgとなり、置き勉の量で相殺されていてトータルが変わってないことになります。

○委員 28 ページの「ICT教育の目的を学校に浸透させる高砂市独自の取組として、各学期に1 回程度、高砂市GIGAスクール運営協議会を開催している。」ことは非常にいいと思いますし、続けてほしいんですけども、問題は、担当者が集まり、そこでいろんな有益な協議がなされ、それを全職員に広げられているのかということです。この分野は1 月経ったら変わってくると思いますので、その情報の刷新をしていかないといけないと思います。

○委員 28 ページの熱中症のところで市長の答弁として暑さ指数の活用とありましたけれども、学校で基準をつくってほしいと思います。

NHKの放送で全県的に明らかに30度を超えて31度になっている状態でも、体育館の中でやっていて、気分が悪いとかいって熱中症の軽い症状が出てきて吐いたりして連れてきたりします。それはもう運動をやめましょうというレベルに達していると思うんですけど、本当に測定をやって運用しているのかどうかですね。それをもう1回きちんと徹底してやってほしいと思うのです。

○事務局 測定器が学校にありますので、ニュースの観測点の数値は31を超えて33になったとしても、そのときは31になっていないから活動したと認識しておりますが、そこら辺は、来年また暑くなってくる5月には確実にされていますかというのを念押ししておきます。

○委員 皆さん暑さ指数に対する意識が少な過ぎです。その辺のリスクマネジメントは持たないといけないと思います。

○教育長 分かりました。学校教育課長が言いましたように、学校の方には再三指導してまいりたいと思います。

それから、委員さんが言われた運営協議会や担当者会で出た意見をどのような形で広めていくのが課題だと思いますので、それも併せて、担当者レベルになりますが、検討していくようにしていきたいと思います。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項2 高砂市議会令和6年9月定例会の報告については了承いたします。

議 事 報告事項3 令和6年度トライやる・ウィーク視察計画について

○教育長 報告事項3 トライやる・ウィークの視察計画について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 令和6年度トライやる・ウィークが11月11日月曜日から15日金曜日に行われます。4日目の11月14日の午前中に推進協議会の委員さん、午後に教育委員さんの視察を計画しております。

教育委員さんの視察場所は、ハローズ高砂店、制服を取り扱っている店舗のイカリヤさん、高砂市観光交流ビューローとなります。

○教育長 帰りに出欠をお願いします。

これについてはよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項3 トライやる・ウィークの視察計画については了承いたします。

議 事 報告事項4 高砂市新たな学校づくり推進計画策定等業務委託の受託者の決定について

○教育長 報告事項 4 高砂市新たな学校づくり推進計画策定等業務委託の受託者の決定について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 契約業者は株式会社ファインコラボレート研究所、契約金額は4,235万円で、各年度は令和6年度1,265万、令和7年度1,298万、令和8年度1,177万、令和9年度495万で契約をしており、履行期間は令和6年9月30日から令和9年9月30日までです。

スケジュールは、現在調整中でございますが、案として、今年度は前提条件の整理、課題等の整理、児童生徒数の推計など基礎情報を固めまして、今年度の末頃に説明会を開催し、令和7年度から8年度にかけて、適正規模・適正配置や学校の在り方、再編スケジュールなどを検討し、令和9年度に計画決定に向けた手続を進めてまいりたいと考えております。

○教育長 報告事項 4 高砂市新たな学校づくり推進計画策定等業務委託の受託者の決定について、御質問、御意見ございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 4 高砂市新たな学校づくり推進計画策定等業務委託の受託者の決定については了承いたします。

議 事 報告事項 5 高砂市教育委員会事業後援について

○教育長 報告事項 5 高砂市教育委員会事業後援について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 1番と2番が生涯学習課、3番が学校教育課にそれぞれの日申請を受けまして、承認決定をしたものでございます。

○事務局 3番の申請日と実施日の間が2か月ないですが、事前に遅れますという一報があったということを、来年度以降は、2か月を過ぎますと承認できない可能性がありますという文書も添えて送っていくことを担当から確認しております。

○教育長 御質問、御意見ございますか。よろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 報告事項 5 高砂市教育委員会事業後援について了承いたします。

議 事 その他 1 11月行事予定について

○教育長 その他 1 11月行事予定について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 11日から15日まで、トライやる・ウィークが、各小学校で音楽会が実施されます。

28日は定例教育委員会が13時半から南庁舎2階会議室2で開催され、その後、隣の会議室1で15時から総合教育会議を開催し、再び会議室2で教育委員会の予算要望を行っていただきたいと思いますと考えております。

○教育長 案内が行っているかと思いますが、11月21日に明石で教育委員の合同研修がありますのでお時間がありましたら御参加ください。

○委員 行事予定についてなんですけど、今回はこの総合教育会議に関する勉強会とかはないのですか。予算要望もありますし。

○事務局 事前の勉強会は必要であるとは思っており、できれば11月の2週目か3週目のあたりでお願いしたいと思っています。

○委員 総合教育会議のテーマは何ですか。

○事務局 教育振興基本計画の素案の説明と、議案としては大綱の確認と計画の素案の方の部分をさせていただいて、市長とまたどのように協議を行っていただくかというところの勉強会の方を持ちたいと思っています。

○委員 2周目でしたら、もうその大綱と基本計画の修正分はもう出来上がっているんですね。

○事務局 その予定です。できれば11月の7日か14日でいかがでしょうか。

○教育長 14日の3時以降でどうですか。

(「大丈夫です」と呼ぶ者あり)

○教育長 14日の3時30分から5時ぐらいをめどに行いたいと思います。場所はまた連絡します。

(「はい」と呼ぶ者あり)

○教育長 その他1 11月行事予定について了承いたします。

令和6年10月17日 午後5時21分 教育長会議の閉会を宣告
